NISSAY ASSET MANAGEMENT

週間市場レポート（2022年8月29日～9月2日）

1）先週の市場動向

指数名	国	前週末 2022/8/26	先週末 2022/9/2	前週末比 (%)
日経平均株価（円）	日本	28,641.38	27,650.84	▲ 3.46 ↘
ＴＯＰＩＸ（東証株価指数）	日本	1,979.59	1,930.17	▲ 2.50 ↘
ダウ工業株30種平均（ドル）	米国	32,283.40	31,318.44	▲ 2.99 ↘
Ｓ＆Ｐ500種指数	米国	4,057.66	3,924.26	▲ 3.29 ↘
ナスダック総合指数	米国	12,141.71	11,630.86	▲ 4.21 ↘
ユーロ・ストックス50指数	ユーロ	3,603.68	3,544.38	▲ 1.65 ↘
Ｓ＆Ｐ/ＡＳＸ300指数	豪	7,089.79	6,814.02	▲ 3.89 ↘
上海総合指数	中国	3,236.22	3,186.48	▲ 1.54 ↘
MSCI AC アジア（除く日本）※		831.68	809.29	▲ 2.69 ↘
東証ＲＥＩＴ指数	日本	2,035.67	2,009.29	▲ 1.30 ↘
FTSE NAREIT All-Equity REIT 指数	米国	817.81	785.79	▲ 3.92 ↘
ＡＳＸ300 ＲＥＩＴ指数	豪	1,439.60	1,394.00	▲ 3.17 ↘
グローバルＲＥＩＴ（除く日本）※		190.18	183.42	▲ 3.55 ↘
日本10年国債（%）	日本	0.223	0.241	0.018 ↗
米国10年国債（%）	米国	3.041	3.189	0.149 ↗
ドイツ10年国債（%）	ドイツ	1.390	1.525	0.135 ↗
英国10年国債（%）	英国	2.602	2.918	0.316 ↗
ドル/円	米国	137.64	140.20	1.86 ↗
ユーロ/円	ユーロ	137.20	139.57	1.73 ↗
英ポンド/円	英国	161.67	161.37	▲ 0.19 ↘
豪ドル/円	豪	94.89	95.50	0.65 ↗
フィラデルフィア半導体指数		2,798.44	2,599.26	▲ 7.12 ↘
ＷＴＩ原油先物（ドル）		93.06	86.87	▲ 6.65 ↘
ＣＲＢ指数		299.09	284.47	▲ 4.89 ↘

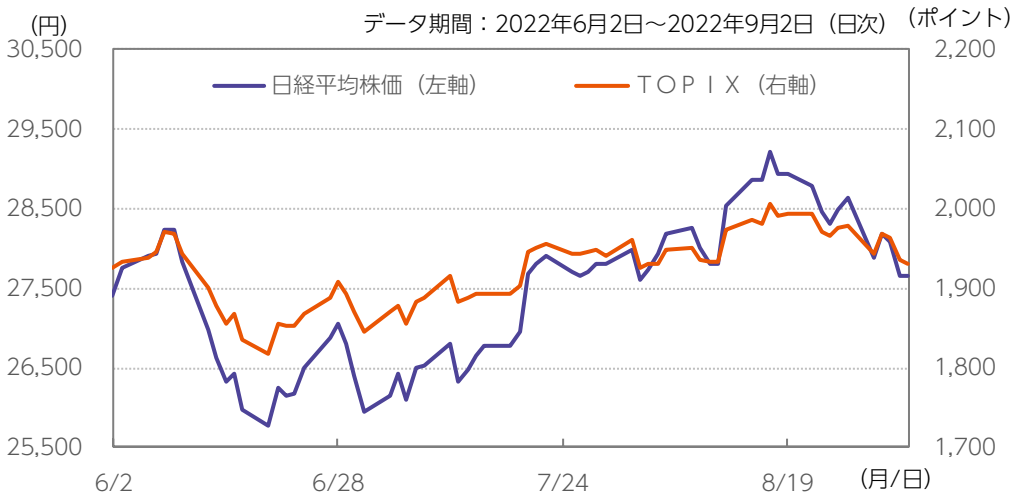
出所）ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成
※現地通貨ベース　＊ ▲はマイナスを表します。

2）日本の株式・債券市場

≪ 株式 ≫

日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で下落しました。

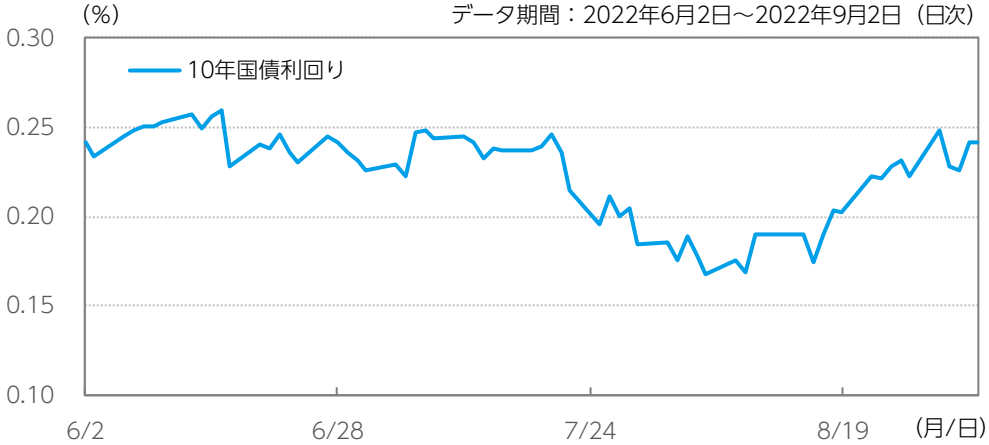
前週末に開催された経済シンポジウム（ジャクソンホール会議）の講演で、パウエル米連邦準備制度理事会（FRB）議長がインフレ抑制のための金融引き締めに改めて強い決意を示し、FRBによる大幅な利上げが長期化するとの警戒感から下落しました。なお、政府による水際対策の緩和で国内経済の正常化が進むとの期待や、円安米ドル高基調が株式市場の支えとなる場面もあったものの、米国の積極的な利上げへの警戒感は根強く、上昇幅は限定的でした。



≪ 債券 ≫

日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で上昇しました。

FRBの積極的な金融引き締めが長期化するとの警戒感や、インフレ抑制のため、欧州の中央銀行も利上げを継続するとの見方から、欧米の長期金利が上昇した流れを受け、前週末比で上昇しました（価格は下落）。一方、日銀が現行の金融政策で長期金利変動幅の上限とする0.25%に迫ると、持ち高調整目的の買いも出やすく、利回りは低下する場面もありました。

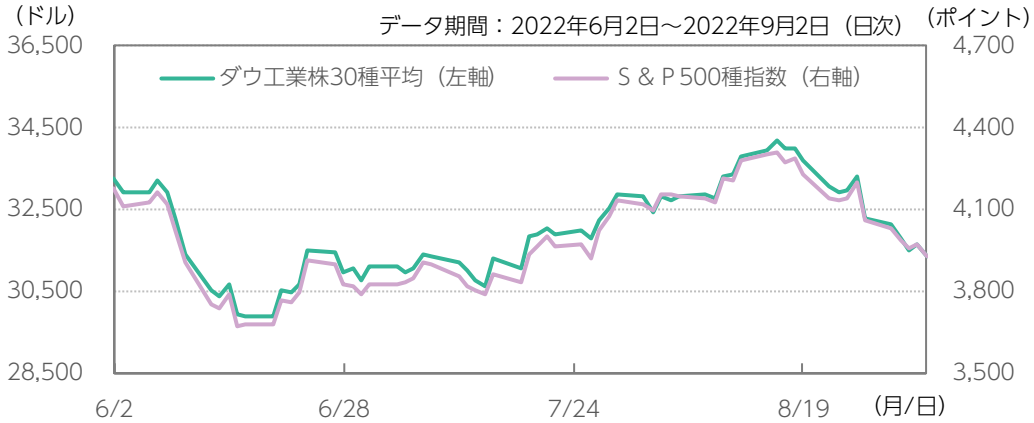


3）米国の株式市場

≪ 株式 ≫

米国株式市場（NYダウ）は、前週末比で下落しました。

ジャクソンホール会議でパウエルFRB議長がインフレ抑制のための利上げの必要性を改めて強調したことや、FRB高官のもタカ派（金融引き締め推進派）的な発言が相次いだことなどから、前週末から引き続き下落しました。8月の米雇用統計の結果は市場予想範囲にとどまったものの、FRBが金融引き締めの長期化を継続するとの見方に変わりはなく、週末も下落しました。

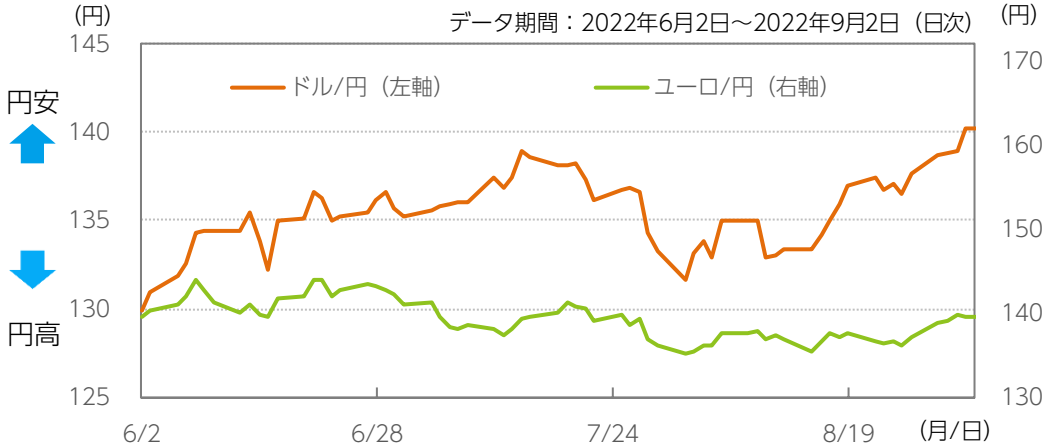


出所）ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

4）外国為替市場

米ドル/円相場は、前週末比で円安米ドル高となりました。

ジャクソンホール会議でパウエルFRB議長が改めて金融引き締めへの積極的な姿勢を示したことや、堅調な米経済指標を受けて米長期金利が大幅に上昇した流れを受け、日米金利差拡大を意識した円売り米ドル買いが進行し、1998年８月以来、約24年ぶりに140円台まで円安米ドル高が進みました。



5）今週の見通しについて

ジャクソンホール会議でのパウエルFRB議長の発言を受け、米国の積極的な利上げが長期化するとの警戒感から、株式市場は不安定な値動きが続いています。

2日（金）に発表された8月の米雇用統計は、非農業部門雇用者数が前月比+31.5万人と市場予想（同+29.8万人）をやや上回りました。引き続き堅調な雇用と賃金の伸びが確認されたことで、FRBが20－21日の日程で開催する9月の米連邦公開市場委員会（FOMC）でも大幅利上げをするとの見方が大勢を占めています。市場は、引き続き各種経済データを確認していく見込みです。

今週、8日（木）に開催される欧州中央銀行（ECB）の定例理事会において、ECBがインフレ抑制のため0.75％の大幅利上げに踏み切るかに注目が集まります。ECB後の会見でラガルド総裁のタカ派的な姿勢が示された場合には、株式市場は下値を探る展開となる可能性もありそうです。一方、日米両市場ともに先週の下落幅が大きかったことから、割安感を意識した押し目買いが相場の支えとなりそうです。

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

＜設定・運用＞

ニッセイアセットマネジメント株式会社

商 号 等：ニッセイアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者
関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社
コールセンター　0120-762-506
9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）
ホームページ　https://www.nam.co.jp/